

「小川町地域公共交通計画（案）」のパブリックコメント意見と町の考え

実施期間 : 令和3年2月1日（月）～ 3月2日（火）

提出意見数 : 6名、12意見

閲覧場所 : 町ホームページ、都市政策課窓口、各公民館、図書館、パトリアおがわ、ココット

意見提出方法 : 郵送、FAX、電子メール、窓口への持参

■意見と対応方針

NO	該当箇所	意見	町の考え
1	6-1 (P3) 東武東上線の 新駅として「東小川 駅(仮称)」設置の 提案	<p>6-1 公共交通の将来像でしめされている「みんなが今よりも快適に移動でき、地域活性化にも資する公共交通環境の実現」の目標③の実施に際して、東武東上線の新駅として「東小川駅(仮称)」の設置を提案いたします。</p> <p>折角「ユネスコ無形文化遺産・和紙の里！」に登録された細川紙を広く知ってもらうためには交通網が充実してなければ、多くの観光客の来客が望めません。</p> <p>東小川地区は団地開発段階から、新駅誘致の活動が行われていましたが、いまだ現在実現されてないため、この機会に新駅を設置して、小川町駅周辺のにぎわい創出や観光振興など、小川町駅周辺のにぎわい創出や観光振興の推進を図れるよう公共交通環境づくりを進めることを提案いたします。</p> <p>仮称東小川駅からは伝統工芸会館まで徒歩もしくは、小川町ーパークヒル路線を利用することにより、現在のアクセス方法よりも利便性が高まることと、地域の住民の移動手段としても利便性が高まるものです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東小川地区における新駅については、上位計画である第5次総合振興計画 後期基本計画に設置可能性の調査・研究を行う旨を位置づけています。 ・地域公共交通計画においては、既存のバス路線・停留所を活かして埼玉伝統工芸会館と東小川地域へのアクセス性を高めるため、「施策⑥バス路線の維持・充実」を位置づけています。 ・また、公共交通利用促進と観光振興に一体的に取り組む「施策⑫観光客への周知・利用促進(イベント開催時のシャトルバス運行等)」も位置付けており、これによってもアクセス性を高めていく考えです。

「小川町地域公共交通計画（案）」のパブリックコメント意見と町の考え

NO	該当箇所	意見	町の考え
2	6-3 (P11) 循環型の移動手段について	<p>6-1 公共交通の将来像でしめされている「みんなが今よりも快適に移動でき、地域活性化にも資する公共交通環境の実現」を達成させるために、6-3では、4つの目標が示されている。特に、目標①の高齢者等の外出を支援する公共交通施策として循環型の移動手段を提案致します。</p> <p>例えば、上横田／下横田地区の在住者は現在移動手段がデマンドタクシーの利用のみとなりますが、小川町～東小川～中爪～下横田～上横田～小川町となるような循環型マイクロバスを運行することにより、時刻表に基づいた計画的な移動が可能となって、高齢者以外にも学生や通勤にもマイカーの利用削減につながり、これからの脱炭素社会構築にも役立つものであります。</p> <p>その他についても、循環型の移動手段を設けることによって、町内をくまなく移動可能となって、利便性が大きくなるものと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスでは移動できない空白地域への移動手段は、デマンドタクシーが役割を担っています。 ・デマンドタクシーの運行形態は、路線を定めない「自由経路 自宅～指定目的地間輸送型(個別輸送方式)」にしており、これによって循環方向の移動も可能と考えています。 ・一方で、地域における細かい移動ニーズへの柔軟な対応や、デマンドタクシーの持続可能性を高める必要があるため、行政・住民・事業者等の地域に関連する多様な輸送資源を活用した、地域主体での新しい移動サービスの導入可能性を今後検討していく予定です。
3		<p>長期的にぜひ実現してほしいことは町内を細かくまわる交通網が必要になること、そのことでこの地域が活性化すると思います。若い人から高齢者まで元気で生活できる条件ができれば多くの人も住めるようになると思います。町内くまなく走る小型循環バスの実現を期待します。</p>	<p>(施策④地域主体での新しい移動サービスの導入可能性検討を参照)</p>
4		<p>デマンドタクシーと合わせて交通空白地域などをまわる便利な小型の循環バスを走らせてください。</p>	

「小川町地域公共交通計画（案）」のパブリックコメント意見と町の考え

NO	該当箇所	意見	町の考え
5	6-3 (P12)	<p>デマンドタクシーについて</p> <p>デマンドタクシーの導入は大変喜ばれていますが、次の点の改善をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者も多く収入も少ないので、料金は100～200円程度に ・病院へ行く時など大変不便です。予約制の導入を ・行き先は自宅から「希望する場所まで」としてください。 ・病院など重要な施設には町外でも行けるようにしてください。 ・財源確保のためにも国からの補助金を得られるようにしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少や高齢化の進行が今後も予測される中において、デマンドタクシーを維持・継続するため、施策の実施工程に「事業効果の検証・見直し」を位置づけています。 ・当町は、鉄道、路線バスなどの公共交通が連携して公共交通網が形成されています。特に路線バスとデマンドタクシーは、共存して維持していくことが大切だと考えています。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言などのため、デマンドタクシーの利用者数は減少しているものの、タクシー運賃改定に伴うタクシー料金の値上がりによって、町の月々の負担金は、以前と比較すると増加しております。このようなことから、利用料金の引き下げは、現段階では難しいものと考えます。また、予約制の導入は、デマンドタクシー事業者は、限られた乗務員、車両数で運行しており、一般のタクシーが占有されてしまうと、デマンドタクシー利用者全体で見たときに、不便をこうむる方が多くなることから予約を受け付けることは行っていません。デマンドタクシーにつきましては、適切な事業検証と運行形態など、図っていく考えです。
6		<p>現在のデマンドタクシーも必要です。料金を安くしてほしいと思います。</p>	
7		<ul style="list-style-type: none"> ・予約制にしてほしい。 ・電話してもすぐ来ないので、待ち時間が長く困っている。 ・嵐山方面まで行けるように検討してください。嵐山町との話し合いをしてほしいです。その時は出席いたします。 ・料金を安くしてください。 	
8		<ul style="list-style-type: none"> ・予約制にしてほしいです。 ・待ち時間が長くて困る。（スーパーなどで降りて買物し、帰りのデマンドタクシーを頼んでも待ち時間が長くなる） ・とても助かっていますが、できればもう少し料金を安くしてほしいです。近所の方も利用しているので、もう少し安くしてほしいと言っています。 	
9		<p>町長の長い要望だったデマンドタクシーが当時の副町長、議会、関係機関・団体の努力でようやく実現した。とてもうれしいことです。デマンドタクシーの町民の関心はその登録者数が示すように大変高い数値です。今後更に町民の要望に寄りそった運行に努めて下さい。そうすることが住んで良かった小川町となり町の人口流出、減少に歯止めをかける条件になると考えます。町の人口がピーク時から約9千人減少しました。町の公共交通の充実はまったなしです。</p>	

「小川町地域公共交通計画（案）」のパブリックコメント意見と町の考え

NO	該当箇所	意見	町の考え
10	<p>計画全般</p> <p>隣接市町村との連携について</p>	<p>便利に暮らすことを誰もが望んでいます。それには隣の町との連携が必要だと考えます。ぜひ嵐山町との連携を実現してください。これは小川町の活性化にもなると思いますのでぜひ進めてほしいと願っています。全力で応援します。お願いいたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでは、観光客への公共交通利用促進を図る周遊観光イベントや、路線バスの維持・充実等に取り組む中で隣接市町村と連携を図っています。 ・今後も更なる連携強化に向けて、引き続き取り組む考えです。
11	<p>問題点の分析について</p>	<p>これまでの経過や問題点の具体的な分析がないので、具体的な改善の方向がわからない。言葉だけの「目標」や「改善」になっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画の策定過程では、現行計画に該当する小川町地域公共交通網形成計画に位置付けた施策・目標値の進捗・達成状況の調査・分析を実施しています。 ・調査・分析結果を踏まえて、小川町地域公共交通活性化協議会で公共交通のあり方について審議した上で計画（案）をとりまとめています。
12	<p>その他</p>	<p>交通問題の改善や町の発展には人口問題が大きくかかわっています。人口増の対策を追加してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な人口減少対策は、小川町総合振興計画等に基づいて取り組んでいくこととなります。地域公共交通計画についても、公共交通の側面から人口減少対策に寄与するよう取り組む考えです。